



事業名

## 食品ロス削減マッチングサービス 「Utteco Katteco by タベスケ」(姫路モデル)



※2023年3月1日現在のデータです

### 取組の概要

食品ロス削減マッチングサービス「Utteco Katteco by タベスケ」(姫路モデル)は、市内の食品関連事業者が食品ロスになりそうな食品を売って「ECO」、消費者はそれらの食品を買って「ECO」、自治体は事業系食品ロスの減量が図れ「ECO」となる、3方よしのフードシェアリングサービスです。

フードバンク情報やフードドライブ情報も発信し、家庭系食品ロスの削減にもつながる、全国15自治体へ横展開されている、注目のプロジェクトです。

姫路市は、「世界をつなぐSDGs推進都市ひめじの夢」のスローガンのもと、万博を契機に取り組みを加速します。

## Utteco Katteco by タバスケ



姫路市では、2019年2月に「姫路市“食品ロス”もったいない運動推進店」登録制度を創設。食品ロス削減に取り組む食品関連事業者を「姫路市“食品ロス”もったいない運動推進店」として登録することで、事業系食品ロスの削減を推進するとともに、登録制度の普及を通じて市民の食品ロス削減への意識啓発を図ってきました。

2021年3月1日より、食品関連事業者から発生する食品ロスの更なる削減を図るべく、全国の自治体でも初の政策となる「姫路市“食品ロス”削減マッチングサービス(Utteco Katteco by タバスケ)」の運用を開始しました。これまで10トン以上の食品ロス削減を実現しています(2022年11月30日現在)。

## 3方よしの フードシェアリング

### マッチングサービスの利用状況等

(2023年2月28日現在)

- ・ユーザー数:37,567人
- ・協力店舗数:42店舗
- ・出品数:3,375品
- ・取引成立数:8,474件
- ・削減数:11,125,665グラム

市内の食品関連事業者が、廃棄になる可能性がある食品を通常よりも安価に販売し、ウェブサイト及び姫路市公式アプリ「ひめじプラス」で情報発信します。消費者(市民)は、スマートフォンやパソコンから希望商品を注文でき、姫路市は、市域の事業系食品ロスの減量が図ることができる、まさに「3方よし」なサービスです。

2019年度より、NPO法人フードバンクはりまと連携し、食品ロス削減の取り組みのひとつであるフードドライブを開催し、生活困窮者支援にも取り組んでいます。

関係者みんながよろこぶ、仕組みが評価され、全国15自治体\*へ取組が横展開されるなど、市外でも注目されている取り組みです。(\*長崎県佐世保市、三重県桑名市、山梨県甲府市、長野県松本市、栃木県鹿沼市、愛知県安城市、宮城県仙台市、東京都八王子市、三重県亀山市、東京都小金井市、佐賀県佐賀市、東京都江戸川区、三重県志摩市、三重県伊勢市、愛知県津島市)

## 世界をつなぐSDGs推進都市 ひめじの夢



姫路市では、2021年2月には2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指した「ゼロカーボンシティ宣言」を実施しました。さらに、様々なSDGsに基づく施策展開を続け、2021年5月、内閣府より「SDGs未来都市」に選定されています(兵庫県内では2番目、播磨圏域では初)。

現在も、「Utteco Katteco by タバスケ」事業の他、全国初・姫路市発の域内でのペットボトル資源循環型リサイクル事業など、SDGs未来都市として多角的にエコなまちづくりを進めています。

2025年の大阪・関西万博は「SDGs万博」とも言われています。「世界をつなぐSDGs推進都市ひめじの夢」をスローガンに、今後も万博と目標をともに、多様な社会的課題解決に向けて取り組みを加速します。



問い合わせ先:兵庫県姫路市(姫路市役所環境局美化部リサイクル課)  
URL:  
<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000015555.html>  
Mail:recycle@city.himeji.lg.jp



360°EXPO拡張マップ

兵庫県姫路市

「Utteco Katteco by タバスケ」(姫路モデル)